

令和6年2月末の特殊詐欺発生状況について

- 1 2月中の発生状況
 - ・ 被害件数 6件
 - ・ 被害金額 約2,666万円
- 2 令和6年2月末の発生状況
 - ・ 被害件数 10件（前年同期比－3件）
 - ・ 被害金額 約2,838万円（前年同期比＋約1,526万円）
 - ・ 手口別

区 分	令和6年 2 月末			令和5年 2 月末			対前年比	
	件数	うち未遂	被害額 (万円)	件数	うち未遂	被害額 (万円)	件数	被害額 (万円)
特 殊 詐 欺	10	0	2,838	13	0	1,312	-3	1,526
オレオレ詐欺	2	0	1,568	1	0	105	1	1,463
預貯金詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0
架空料金請求詐欺	6	0	218	8	0	584	-2	-366
還付金詐欺	1	0	100	1	0	100	0	0
融資保証金詐欺	0	0	0	1	0	25	-1	-25
金融商品詐欺	1	0	953	0	0	0	1	953
ギャンブル詐欺	0	0	0	1	0	499	-1	-499
交際あっせん詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の特殊詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0
キャッシュカード詐欺盗	0	0	0	1	0	0	-1	0

※ 金額は一万円未満を四捨五入して表記しており、内訳と合計の数値が異なる場合があります。

・ 年代別

被害者の年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代 (65歳未満)	60代 (65歳以上)	70代	80代	90代
人数	0	0	0	0	0	1	3	6	0	0

※ 高齢者率 90.0%

- ・ 男女別 男性7人、女性3人

3 被害の傾向

2月中は、架空料金請求詐欺が3件、オレオレ詐欺が2件、金融商品詐欺が1件発生しました。

<オレオレ詐欺の被害例>

自宅固定電話に、総務省の職員を名乗る男性から、
「あなたの携帯電話や固定電話が詐欺に使われている。捜査をしている警視庁から電話がある」

続けて、警視庁の捜査員を名乗る人物から

「逮捕した人物があなた（被害者）名義のキャッシュカードを持っており、あなた（被害者）から購入したと言っている」「あなたは犯人なので在宅で事情聴取する」

と電話がかかり、その後も警視庁の捜査員を名乗る男性や検察官を名乗る男性から、

「口座の動きを調べるため、インターネットバンキングで口座を作り、定期預金を解約してその口座へ入れてほしい」

「あなた（被害者）のネットバンク口座を空にしてもらえば捜査が早く済むので、警察の捜査用口座に預貯金を移してほしい」

「お金は20日程度で戻すことができるが、従わなければあなたの今の口座を凍結する」

などと言われ、被害者は、犯人の指定する口座にお金を振り込みだまし取られたもの。

<架空料金請求詐欺の被害例>

携帯電話にNTTファイナンスを名乗る男から「動画サイトの未納料金がある。ハッキングによる登録であれば返金するが、このまま支払いがないと法的措置に移行する。」「別のサイトにも合計約50万円分の未納料金がある。」等という電話がかかり、さらに内閣サイバーセキュリティセンターを名乗る男から「あなたの携帯電話がサイバー攻撃をしている。警察に逮捕される可能性もあり、サイバー保険で補償対応しましょう。保険料50万円を支払って欲しい。」等と言われ、電子マネーを購入しだまし取られたもの。

<金融商品詐欺の被害例>

インターネット上で株取引を教えるとうたうサイトを見つけ、そのサイトで暗号資産の購入と投資のやり方を教えてもらい、指示されたアプリを自分のスマートフォンにダウンロードし、このアプリを通じて暗号資産の投資を繰り返し、増えた資産を引き出そうとしたところ「アプリの使用料が必要」などと言われ暗号資産で支払ったものの資産を引き出すことができず、だまし取られたもの。

4 令和6年2月末の「声掛け」等による被害の未然防止状況

- ・ 未然防止件数 19件（前年同期比+9件）
- ・ 未然防止金額 約215万円（前年同期比+約6万円）
- ・ 未然防止率（阻止率） 65.5%

※ 金額は一万円未満を四捨五入して表記しており、内訳と合計の数値が異なる場合があります。